



**新農業委員・農地利用最適化  
推進委員決まる**



(右)市長から農業委員へ辞令書が交付されました

任期満了に伴い農業委員、農地利用最適化推進委員それぞれ19名が決まりました。

8月1日の初総会において、三保恵一市長より農業委員一人一人に辞令書が交付され、その後、

会長及び会長職務代理者の互選、議席の指定を行いました。

会長には二本松地域大平地区の奥平貢市委員が、会長職務代理者には安達地域下川崎地区の野地太郎委員が前任期に引き続き選出されました。

農地利用最適化推進委員には奥平会長から委嘱状が交付され、その後、農業委員とともに担当地区の決定や農業委員会活動についての説明を受けました。

新たに任命された農業委員と農地利用最適化推進委員が連携して、「人・農地プラン」の実質化や、担い手への農地利用の集積、更には集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者の参入促進に取り組んでまいります。

なお、任期は令和3年8月1日から令和6年7月31日までとなります。

**ごあいさつ  
会長 奥平貢市**



日頃より、二本松市農業委員会の活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜っており、誠にありがとうございます。

この度、三年間の農業委員会の任期が終了となり、去る8月1日より新しく農業委員19名、農地利用最適化推進委員19名の合計38名が選任されました。その中において、重責であり、奥平がその任にあたることになりました。前期に引き続き再任となり、懸念に努力する所存であり、各々のご指導、ご支援をいただきますようお願いいたします。

さて、東日本大震災から10年が過ぎ、更に

昨年よりコロナ禍となり未曾有の出来事が続き大変な苦勞を強いられ、おられます。それに加えて近年は異常気象による災害が大変多く発生し、被害も甚大であります。本年は遅霜により大きな被害も発生しました。度重なる苦勞の中、本年産米のJA概算金が見る下落となり、農業経営が危ぶまれるような情勢となり、今後どのような対応すべきであるか思案に暮れます。

そのような中、我々農業委員会として少しでも活路を見出すべく、地域の皆様との集落話し合い運動、新規就農者の育成、以前よりある「人・農地プラン」といった事業を、更に発展させ、少しでも元気の足る農業と地域社会造りを目指して活動してまいります。

最後になりますが、今後二本松農業委員会に對し、ご指導ご協力をお願いいたします。ご協力をさせていただきます。



祝

県農業賞受賞 農業十傑入り

二本松地域大平地区でスプレーマム（西洋菊）を中心に多種多様な花を栽培している武藤政仁さんと美枝子さん夫妻が、この度「第62回県農業賞」を受賞されました。県農業賞は「農業十傑」として知られ、県内の農業分野の賞で最も権威のある賞です。「みんなの協力や支えがあつて受賞できた、感謝の気持ちでいっぱい」と喜びの声をいただきました。



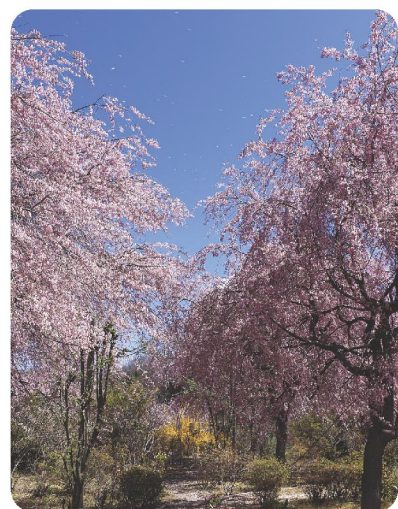
▲色鮮やかなスプレーマムを手掛けます



▲長年の努力が実を結び見事受賞されました

武藤さんは50アールのハウスで年間を通じて約100種類の花を栽培、生産量の約半分を東京の市場へ出荷し、残りは県内の市場や直売所等へ出荷しています。武藤さんによれば「個人経営の花屋さんのニーズに応えられるよう小ロットで多品種の栽培をしている。『武藤さんの花はいつまでも持つね』という声をいただいでいて、綺麗で日持ちがいい花の栽培を意識して行っている」とのことでした。息子さん夫婦も一緒に栽培に携わっており、将来は経営を任せて、武藤さんは父が山を切り開いて始めたオープンガーデン、

ムトーフラワーパークの整備を進め、より多くの方に訪れていただきたいと意気込んでおられました。今後益々のご活躍が期待されます。



（右）春のムトーフラワーパークしだけ桜が満開です



（右）ハウスでは西洋シャクナゲが咲き誇ります

退任される方へ感謝状

7月31日をもって退任された農業委員・農地最適化利用推進委員の方に対し、二本松の農業の発展に貢献された功績をたたえ、8月1日に三保恵一市長から感謝状が贈呈されました。長年ご尽力いただきありがとうございました。

退任者一覧

- ・三浦 喜周 氏
- ・菅野 保治 氏
- ・佐藤 信喜智氏
- ・野地 さよ子氏
- ・中山 博之 氏
- ・佐久間 敏 氏
- ・松本 正典 氏
- ・堀川 英二 氏
- ・泉 佳男 氏
- ・遊佐 幸吉 氏



▲市長より一人一人に手渡されました



# ～令和3年農業委員会作況調査～

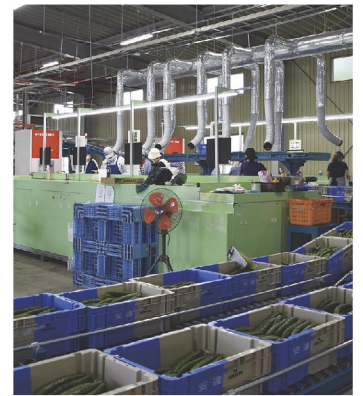
令和3年の農業委員会による、作況調査を9月17日に実施しました。市内5箇所の圃場と、きゅうりの広域共選場を訪問し、生産者や管理者より説明を受け、今年の作柄を調査しました。

◇二本松地域原セ地区のきゅうりの広域共選場では、8月上旬までは天候にも恵まれ出荷量は順調に推移してきました。8月6日には1日の処理能力を超える5千8百ケース分を処理し対応に苦労したそうです。

◇安達地域渋川地区の野地伸一さんのハウス5棟では、キャロル10という品種のミニトマトをメインに栽培し、最高で7トン少々の収穫がありますが、今年

## 作況調査場所

- JAふくしま未来（原セ）・・・共選場
- 野地 伸一（渋川）・・・ミニトマト
- 堀川 英二（小沢）・・・水稲
- ふくしま農家の夢ワイン（木幡）  
・・・ぶどう（酒造会社）
- 佐久間 栄吉（東新殿）・・・水稲
- 佐藤 浩明（戸沢）・・・りんご



▲きゅうり共選場

は天候による病気の発生等により5〜6トン程度になり、作柄はやや不良とのことでした。これから10月上旬まで作業・収穫が続くと話されていました。

◇安達地域小沢地区の堀川英二さんの水田では、コシヒカリ、もち米、飼料米を作付けし、コシヒカリ専用の一発剤の肥料と、牛糞堆肥を投入し、春と秋の二回耕耘しているとのことでした。作柄は昨年並みで収量は10アール当たり7〜8俵の見込みとのことでした。

◇東和地域木幡地区のふくしま農家の夢ワインでは、醸造担当の山崎清史さんより製造過程の説明がありました。今年の作柄は良で、これから台風の影響等が無いことを願っているとのことでした。



▲堀川英二さん

◇岩代地域東新殿地区の佐久間栄吉さんの水田では、コシヒカリ、天のつぶ、もち米を作付けし、今年の作柄は昨年並みのことですが、イノシシの被害もあり、対策に苦慮しているそうです。

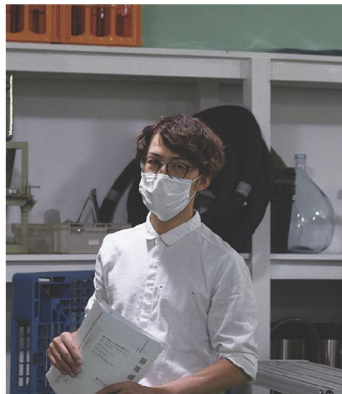
◇東和地域戸沢地区の佐藤浩明さんのリンゴ園は、作柄は良いことでした。原発事故やコロナ禍の影響により贈答用の注文が増加しないというのですが、色々なアイデアを出しながら奮闘していると話されていました。



▲佐久間栄吉さん



▲野地伸一さん



▲ふくしま農家の夢ワイン(株)の山崎清史さん



▲佐藤浩明さん

（大内和長委員）



# 推進委員を紹介します



会長職務代理者  
**野地 太郎**



農業委員  
**菅野 秀和**



推進委員  
**佐藤 一男**  
針道地区



農業委員  
**武藤 栄利**



推進委員  
**石川 重彦**  
木幡地区



農業委員  
**武藤 一夫**



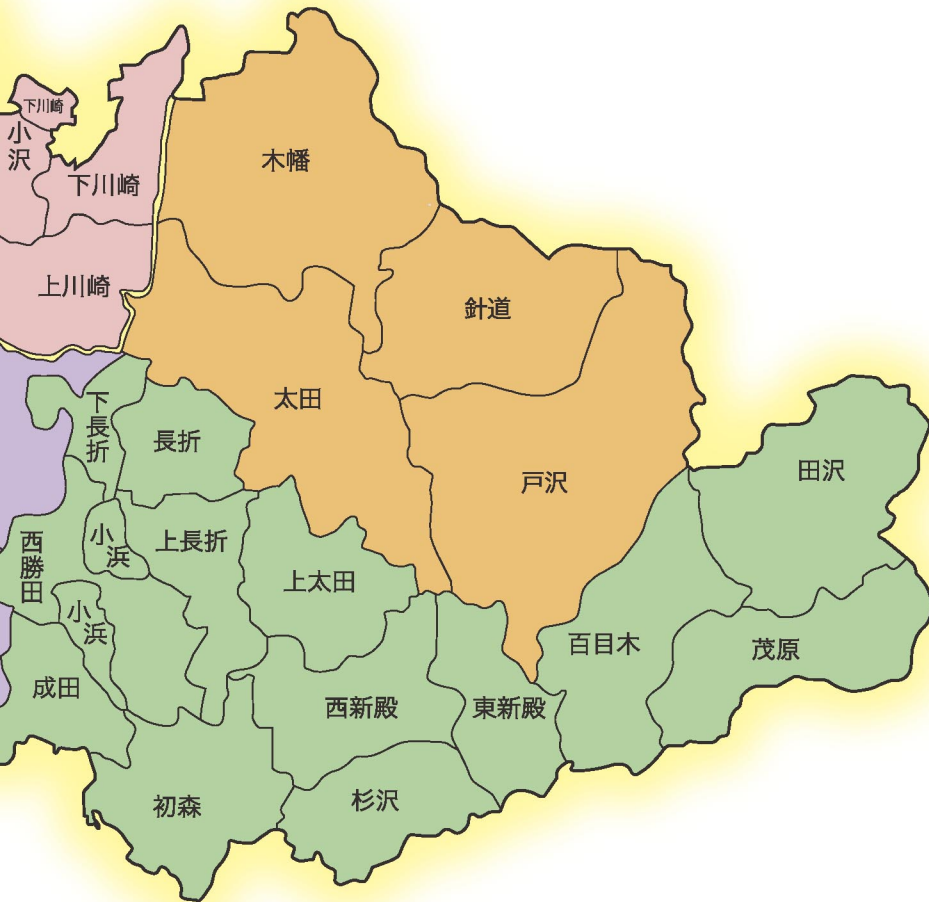
推進委員  
**菅野 正寿**  
太田地区



農業委員  
**佐藤 美由紀**



推進委員  
**武藤 善朗**  
戸沢地区



農業委員  
**遠藤 伝栄**



推進委員  
**遠藤 康子**

小浜地区、  
上長折地区、  
長折地区、  
下長折地区、  
成田地区、  
西勝田地区



農業委員  
**大内 和長**



推進委員  
**武藤 健之**

西新殿地区、  
初森地区



農業委員  
**安齋 喜八**



推進委員  
**佐藤 薫**

東新殿地区、  
杉沢地区、  
上太田地区



農業委員  
**佐久間 栄吉**



推進委員  
**渡邊 久**

田沢地区、  
茂原地区、  
百目木地区



# あなたの地域の農業委員



農業委員  
安齋 栄



農業委員  
佐藤 孝志



農業委員  
野地 太郎



農業委員  
野地 太郎



会長  
奥平 貢市



推進委員  
遊佐 一夫



推進委員  
大内 信一



推進委員  
安齋 秀明



推進委員  
佐藤 孝

油井地区

渋川地区、吉倉地区、  
米沢地区

上川崎地区、  
小沢地区

下川崎地区



農業委員  
松本 太



農業委員  
菅野 一紀



推進委員  
大石 忠雄



推進委員  
大石 忠雄

二本松地区

塩沢地区



農業委員  
松本 太



農業委員  
根本 信康



農業委員  
馬場 利正



農業委員  
齋藤 弘美



農業委員  
佐藤 勝則



農業委員  
川口 美奈子



推進委員  
菊地 清吉



推進委員  
佐藤 洋三



推進委員  
伊藤 金志



推進委員  
安齋 浩一



推進委員  
平 義一



推進委員  
渡邊 一正

岳下地区(成田)

岳下地区  
(永田・岳山麓)

岳下地区  
(原七・高越)

杉田地区

石井地区

大平地区



## 地域のトピックス



▲一面に広がる赤そばの花

安達地域下川崎の東北地区において、赤そばで地域を盛り上げようと赤そば祭りが開催されました。昔から農業の盛んな地域でしたが、少子高齢化に伴い集落の人口が減少し、遊休農地も年々拡大していることや、放射性廃棄物の仮置き場だった負のイメージから脱したいという地元住民の思いから、この取り組みはスタートしました。最近活発になってい

### 秋風に揺れる「赤そば」の花畑



▲ルビー色のキレイな花が咲きます

田園回帰の動きを踏まえて、まずは自然豊かな東北地区を知ってもらおうと、この地区で栽培が適していた赤い花が咲く珍しい赤そばを用いたイベントが、各種催されました。最盛期の9月下旬から10月中旬にはルビー色の赤そばの花で一面が染まり、安達太良、阿武隈の山々と共に訪れた方たちを楽しませていました。

(佐藤孝委員)



▲就農して9年目を迎える遠藤さん

安達太良高原の岳地区は県内でも有数の畜産地帯であり、酪農と繁殖和牛の里です。遠藤直人さん(46)と良子さん(42)夫妻はここで酪農専業の牧場を経営しています。生き物が好きな遠藤さんは大学を卒業後、憧れの北海道へ向かいます。酪農へルパーとして働き、いつしか牛飼いとしての悦びを覚え、将来牧場を経営するとういう大きな夢を抱くように

### 酪農人生を夢見て〜遠藤直人さん〜

なりました。平成十三年、縁あって二本松市岳地区で酪農ヘルパーとして働くようになり、この時期に多くの友人に恵まれた遠藤さんは、この地に骨を埋める覚悟を決め平成二十四年、現在の牛舎を建築し新規就農しました。「三年程前からやっと経営が安定してきたが、毎日が勉強。アンテナを高くして状況に応じた経営をしていきたい。」と意気込みます。

すっかり乳が出せるように、子牛の時から育成に力を入れていく遠藤さん。一方、後継者候補の二人の子供については、あくまでも本人の意思に任せるそうです。「様々な経験を通して自分がやりたいようにやる。そういう生き方ができるよう成長して欲しい。」と話しておられました。

(佐藤洋三委員)

遠藤さんの柔らかい思考力、深い愛情に今後益々の経営発展が期待されます。



# 農地利用状況調査を実施

農地利用状況調査を二本松市内全域において、各地区の農業委員・農地利用最適化推進委員により実施しました。

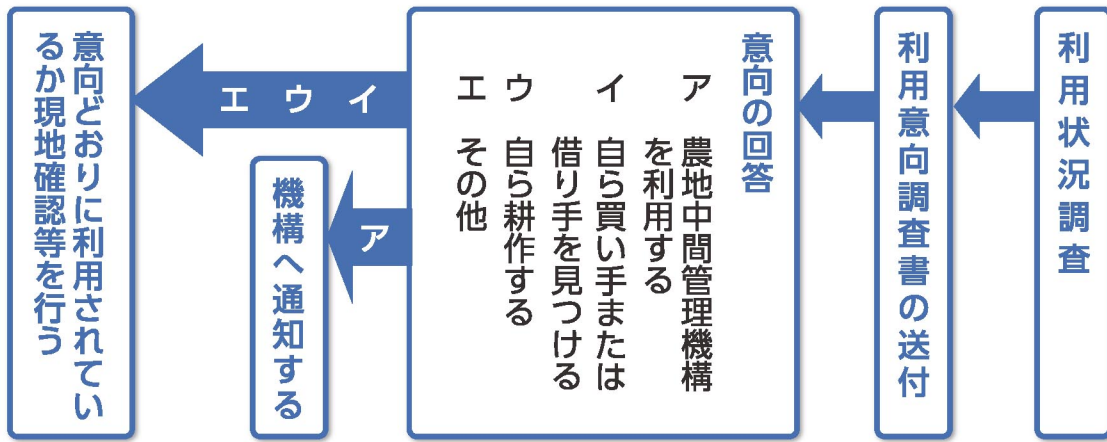
市内各地域において、高齢化、後継者不足、担い手不足により、年々耕作放棄地が目立ってきております。現状を把握し、耕作放棄地解消に向け、農業委員会はもとより行政、各農業団体と共に対策を講じていくことが大事だと考えます。

この調査を踏まえて、遊休農地の地権者に対し、有効利用に向けた「農地利用意向調査」を行いますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

(武藤栄利委員)



▲担当地区を調査中の委員



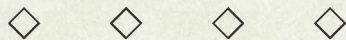
## 農業者年金に加入しませんか？

### その1 農業者は長生きです

農業者年金に加入している65歳以上の農業者の平均余命は、男性が22年(87歳)、女性が27年(92歳)です。65歳の平均余命は、男性が85歳、女性が89歳ですので、農業者年金に加入している方のほうが延びているのが分かります。

### その2 高齢農家の現金支出は約24万円

高齢農家世帯の現金支出は、令和元年ベースでの推計は月額約24万円。一方、国民年金の年金受給額は夫婦2人で月額約13万円(保険料を夫婦とも20歳から60歳まで40年間支払った場合)ですので、月額約10万円程度不足します。



そこで、老後の家計費の不足を解消するため国民年金の“上乘せ年金”に農業者年金が最適です。是非ご検討ください。

詳しくは農業委員、農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局までお問い合わせください。

※加入には国民年金の付加年金への加入が必須です。





# 農業委員会からのお知らせ



農地を売りたい、貸したい(農業経営規模縮小)方は農業委員会事務局までご相談ください。

お問い合わせ先

農業委員会事務局 (市役所2階)



☎55-5148



## ◆現在あっせんを依頼されている売りたい農地◆

所在地	地目等	面積(アール)
伊佐沼町一丁目	田2筆	2
沖一丁目	田2筆	13
舘野四丁目	田10筆	84
	畑2筆	10
舘野原	畑1筆	2

## 農地の売買や転用をお考えの方は農業委員会へ

農地を農地以外の地目にする場合や、売買などの権利の移動には農業委員会の許可が必要になります。事前に農業委員会事務局にご相談ください。

## 転用完了後や非農地証明による地目変更登記はお済みですか？

転用許可を受け農地を農地以外にした場合は、速やかに地目変更登記を行ってください。手続きが行われていないため、後々農業委員会事務局に相談に訪れるケースが増えています。

## 全国各地の今の話題が満載！

### 全国農業新聞

を購読してみませんか？  
農業に関する情報や地域の話や経営と暮らしに役立つ情報をお伝えします。

- 発行：毎週金曜日 (月4回発行)
- 購読料：月額700円 (送料込み)



※購読申込みは農業委員、農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局

## 農業委員会への届出はお済みですか？

- 相続 (遺産分割・包括遺贈を含む)
- 法人の合併
- 時効取得等

により農地の権利を取得した場合は、相続等の届出をしてください。



会長 野地太郎	副会長 奥平貢市	事務代理 奥平貢市	委員 遠藤康子	委員 佐藤洋三	委員 石川重彦	委員 安齋浩一	委員 菊地清吉	委員 武藤栄利	委員 大内和長	委員 佐藤孝	副委員長 松本太	委員長 松本太	広報委員
------------	-------------	--------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-------------	------------	------

まら力け要何と辞い柿 りでイ  
す、をにだ事栗書うが先、すの東  
。お積と一もはで諺売日残が秋京  
祭みらと成三調をら、念、のオ  
り重わ記し年べ思れ自で地香リ  
がねれさ遂、ていて宅な元リ  
な成ずれげ柿み浮い近りのがピ  
い熟、てるはるかてくま提漂ッ  
少し日いま八とべ、のせ灯いく  
しよ々まで年、ま桃八ん祭、が  
寂うコしにた芽し栗百。りお終  
しとツたはて生た三屋、は祭わ  
い、コ。相ばえ。年さん今りり、  
(秋柿ツ目応実た自、ん年時、  
松ををと先の年結か、八秋も期キ  
本を感食地、の月ぶら辰年が止なモ  
太を感じべ道業、務が意、つ旬、  
委員)いが努だ必。桃てとのな頃セ

編集後記